

2006
夏号



ベニマシコ

アカショウビン

ルリビタキ

コマドリ

オオルリ

写真提供:(財)日本野鳥の会 秋田県支部

目次

- 平成18年度総会を開催しました!・エコフェス予告..... 2
- 秋田県地球温暖化防止活動推進員 新規委嘱者導入研修会を行いました!..... 3
- 伝えたいこと・伝えるべきこと 3
- 全国地球温暖化防止活動推進員等交流会へ参加して 4
- もっと地球となかよくしたい 5
- 2006ワールド・エコノ・ムーブ in 大湯村..... 5
- トピックス・お知らせ 6~8



平成18年度総会を開催しました!

平成18年4月22日(土) 秋田市の遊学舎会議室において、平成18年度特定非営利活動法人環境あきた県民フォーラム総会を開催しました。

社員総数52名中、委任状提出者を含む40名の出席がありました。

平成17年度は、初めての秋田県地球温暖化防止活動推進センター事業を行いました。その事業も含む収支決算報告、会計監査報告は、いずれも承認可決されました。

平成18年度事業計画(案) 収支予算(案)につきましては、特定非営利活動法人環境あきた県民フォーラム事業と秋田県地球温暖化防止活動推進センター事業について、事務局が説明し、承認可決されました。



県の桑原参事

平成18年度は秋田県の事業との関連で、当所10月初めに予定していた第6回あきたエコ&リサイクルフェスティバルの日程が繰り上がり、9月2日(土)・3日(日)に決定という報告がありました。

あきた環境優良事業所認定制度で初めて県立小坂高等学校が申請し、優良高等学校として認定されたと報告があり、もっと認知されて輪が広がることを期待します。現在認定されているのは、33事業所と1校です。



山本理事長

今回は、任期満了による理事の再任、退任、新任等がありました。秋田市の那須チカ子理事と、大潟村の谷惇理事が退任され、新しく大潟村の 橋浩人さんが理事に就任されました。

また、副理事長には、秋田市の 橋鑛司理事と潟上市の藤原儀弘理事が選任され、新体制となりました。今後も、よろしくお願いいたします。

上記の案件について承認され、閉会となりました。事業報告、収支決算報告、事業計画、収支予算等は紙面の都合上、ホームページサイトを参照いただきますようお願いします。

<http://www.eco-akita.org/npo/index.html>



総会・講演風景



新任理事 橋浩人さん



休憩中

講演

「異常気象と地球温暖化」～気象予報士 井手迫 義和氏

平成18年度総会に先立って、上記講演会を開催しました。

井手迫講師は、昨年の秋田県地球温暖化防止活動推進員研修でお世話になった気象予報士さんでもあり、昨今の異常気象と地球温暖化の関係、作物収穫量への影響などわかりやすいお話で、講演終了後、質問、意見が続出しました。

秋田の豪雪も、地球温暖化と無縁ではなく、なにより台風が巨大化する恐れがあるということで、自然災害への恐怖を感じました。



井手迫 講師
(気象予報士)



質問も意見も続々...

第6回 あきたエコ&リサイクルフェスティバルのお知らせ!

大人も子供も“学び 体験し 楽しめる”第6回あきたエコ&リサイクルフェスティバルが平成18年9月2日・3日(土・日)、JR秋田駅前アゴラ広場周辺で開催されます。

今年は、例年より1ヶ月早い開催になっています。

こんなことを知りたい、こんな体験をしてみたいなどのアイデアがありましたら、ぜひ実行委員会事務局までお知らせください。

【実行委員会事務局】

秋田県生活環境文化部環境あきた創造課

TEL: 018-860-1573 FAX: 018-860-3881

環境あきた県民フォーラム TEL・FAX: 018-839-8309



蝦名実行委員長



去年のようす

秋田県地球温暖化防止活動推進員 新規委嘱者導入研修会を行いました!

平成18年5月9日(火) 秋田県内で今年度新規に委嘱された推進員の方々と市町村担当者に参加していただき、上記研修会を開催しました。



小笠原美代子さんの活動紹介



能代市役所の穴山さんと秋田市の長野さん

秋田県生活環境文化部参事の桑原さんが「地球温暖化対策はみんなで取り組まなくては進まない。民生部門では肩の力を抜いて自分のできるところから始めることが大事なこと。温暖化防止活動推進員の皆さんや市町村と一緒に頑張っていきましょう」とあいさつ。

続いて、環境あきた創造課の戸澤さんから、地球温暖化の現状、推進員の役割について説明がありました。

その後、2人の現役推進員と元推進員の方の計3人に活動紹介をしていただきました。

初めに、にかほ市の工藤兼勝さんはISO14001審査員補というお立場から、環境マネジメントシステム、エコ家計簿の普及に力を入れており、ご自分の家のデータや待機電力カットの方法などを紹介しました。

次に、秋田市の小笠原美代子さんは省エネ普及指導員でもあり、「100万人のキャンドルナイト in あきた」で電気を使わない時間を過ごしてライフスタイルの見直しを考えてほしいという活動紹介をしました。その後、緊張をほぐす意味で参加者全員にネイチャーゲームを体験してもらいました。「ノアの箱舟」というゲームで、じゃんけんで2組に分かれ、動物カードと名前を書いたカードを持ち合ってひと言だけの質問とジェスチャーで相手を探しだし、ペアができたところで箱舟に乗れるというゲームです。

最後のペアになった能代市役所の穴山さんと秋田市の長野さんには、参加者を代表してひと言ずつコメントをいただきました。このゲームで参加者の雰囲気も大分ほぐれたようでした。

活動紹介の3人目は元推進員のかほ市、吉岡伸子さんです。地元の小学校の総合学習で環境学習を何年も担当なさっており、小学生から「ゴミのおばさん」と呼ばれているそうです。環境用語の多さに閉口した経験や、セールスマンのようにたたみかけて話しかけると人は引いてしまうという苦労話を楽しい語り口でお話し、それでも私たちは誰かに伝えなくてはと締めくくっていただきました。

地球温暖化防止活動は、他人のライフスタイルに口を挟むことが多く、難しいことが多々ありますが、3人の活動を参考に少しでも輪が広がる活動をしていきたいと思った研修会でした。



吉岡伸子さんの活動紹介



工藤兼勝さんの活動紹介

伝えたいこと・伝えるべきこと

平成18年5月26日(金) 秋田市の遊学舎研修室で秋田県地球温暖化防止活動推進員の平成18年度第1回研修会を上記テーマで行い、31名の推進員が出席しました。

午前10時から2時間は「推進員のための地球温暖化基礎講座」、全国地球温暖化防止活動推進センターの前事務局長・中村裕さんの豊富な知識に基づいた講座を受けました。

地球温暖化を完全に止めることは不可能だが、CO₂排出量を現在の半分程度に抑えないと、その影響は計り知れないものがあるということです。

生活様式を考え直すことは大事だが、リデュース、グリーン購入等、「買うとき」の判断が重要であるという中村さんの結論でした。

「あきたこまち」の優れた「うまみ」も、気温上昇のため損なわれるのは必至で、品種改良の必要があるであろうということ、また、花粉症で嫌われ者になっている秋田杉が実はヒノキやブナに比べて成長期のCO₂吸収量が格段に多いことなど、身近な点でもいろいろ勉強になりました。

ここ、遊学舎は田んぼの多い地区にあり、回りで食事に出かけるところも少ないため、研修室で推進員の皆さんたちと昼食を一緒にとりました。それぞれの地域活動のお話や、午前の講義内容についてなど、あちこちで話が弾み、有意義な時間になったようです。

午後は、秋田県庁総務課からの依頼で、宿を借りるという「ヤドカリ出前講座」があり、平成21年から始まる「裁判员制度」について秋田地方裁判所の若松光晴裁判官が、一般県民が審判に関わる制度について理解を求めました。

午後の部、最後の研修は「ストップおんだん館」インタープリターの小山厚子さんから、参加型学習プログラム「持てるかな? エネルギーのかばん」の体験とその活用方法について教えていただきました。

人が一日で使用するエネルギーを石油換算すると、日本人は11kg、アメリカ人は22kg、中国人は2kgという重さになり、その重さを詰め込んだカバンを持つことで実感するという体験です。自販機1台やコンビニ軒の消費電力量が一般家庭の何軒分に当たるかというクイズでは、想像以上の消費量に驚き、話題沸騰でした。ちなみに、自販機1台は家1軒、コンビニ軒は家51軒分の電力を消費しているというデータがあります。

一方的に聞くだけではなく、参加することにより会話が生まれ、双方向の学びの時間が生まれるという体験型学習プログラムが、行動につながる可能性が高く、地球温暖化問題の解決に効果が期待できるという話に一同納得しました。

【伝えるときに大事にしたい3カ条】

その1 やりとりを大切に その2 伝える相手のことを考える その3 言葉に頼らない

インタープリターとは「参加型の学びの場をコーディネーターする人」のことで、小山さんの学びの場では、とても楽しい時間を共有することができ、参加した推進員が持ち帰ることがたくさんありました。



どこに関連してるんだろう



重いですねえ!



伝えるための3カ条
インタープリター 小山厚子さん



基礎講座 中村講師

全国地球温暖化防止活動推進員等 交流会へ参加して

秋田県地球温暖化防止活動推進員 堀井 隆



このたび、平成18年2月21～22日、2日間、北海道から沖縄まで43都道府県の推進員の全国交流会に参加いたしました。

初めに、基調講演として、講師・小沢紀美子先生（東京学芸大学教授）の英独米を中心に展開されている新しい環境教育を通じて、日本における「総合的な学習の時間」のための参加型学習を開催し、教師、行政、地域、専門家と協働する授業づくりの提案・普及を行っているというお話があり、私たち推進員には大変良いお話であり、また勉強になりました。

その後、分科会A・分科会Bの各グループに分かれまして、私は分科会Bに入りました。

テーマ「地球での環境教育をどう進めるか」ということで、私の参加したグループ名は「環境おもちゃ箱」でした。熊本、愛媛、栃木、富山、秋田の各県推進員の日ごろの活動と体験等を話し合い、検討しながら、地球温暖化防止のための学習プログラム「水」「エネルギー」「食」を取り上げて、子ども・大人・地域・住民みんなで考え、行動、人との関係をもって進めていきたいと思います。とまとめました。

また、全体会で各グループごとの発表が行われ、質疑応答をし、講師の先生のご指導を受け終了いたしました。

2日間の研修会でしたが、講演、また全国の推進員との実際活動の意見交換ができ、大変実のある研修でありました。早速、地域の皆さんへ地球温暖化防止の推進に努め輪を広げていきます。

秋田県地球温暖化防止活動推進員 朝倉 孝子



このたびの交流会は、小・中・高校の児童・生徒の指導用、主に教師向けに作成した環境学習の教材を有効に活用するため、推進員としてできる地球温暖化防止のための授業の展開方法やプログラムづくりの工夫をねらいの一つに挙げていることもあり、基調講演と分科会も「小中高の学校における環境学習と地域の役割」・「地球温暖化防止の環境学習プログラムの展開」との内容で行われました。

小中高での環境学習も地域に協力を求めてきており、推進員が環境学習を行う機会も増えてきています。子供たち等学習者に理解してもらうためには、最初からむずかしいのではなく、身近な所から段階的に「学習者に合わせたネタ作り、進め方が重要」とのことでした。

良いネタを作るためには情報を豊富にすることが必要です。研究会・勉強会に積極的に参加し、日頃から情報収集に努めていきたいと思います。

今年2月に仕上がった教材も、学習者に合わせてとの考えで作られています。学校教育の場だけではなく社会教育でも広く活用でき、展開方法も豊富にあることを実感しました。

これらの教材、そして交流会を併せて行われた、ストップおんだん館の体験を今後の環境学習に活用させていただきたいと考えております。

CO₂ダイエット作戦!!! 2006夏

秋田の夏を、電気に頼らず、いかに快適に過ごすか知恵比べ。

工夫を凝らして、使用電力量を減らす「CO₂ダイエット作戦」に参加してください！

下記に参加申込をしてください。

参加申込書と返信封筒を送付します。

参加申込書に8月と9月の使用電力量のお知らせを貼り、電気に頼らず快適に過ごす工夫などを書いて送ってください。昨年と比べて使用量削減率の大きさを競います。

（電気使用量のお知らせには、前年同月の使用量が記入されていますので、削減した分がわかるようになっています）

作戦参加者に節電エコタップを差し上げます

選考の上、大賞を決定、表彰し賞品を差し上げます。（大賞賞品(予定)：節水型なめドラム洗濯乾燥機）

問い合わせ・送付先 / 秋田県地球温暖化防止活動推進センター

特定非営利活動法人 環境あきた県民フォーラム事務局

〒010-1403 秋田市上北手荒巻字堺切24-2 TEL・FAX：018-839-8309

E-mail：mail@eco-akita.org

もっと地球となかよくしたい

株式会社 伊 徳 〒017-0046 秋田県大館市清水4丁目4-15 TEL: 0186-49-2255

大館市に本社を置く(株)伊徳(代表取締役 伊藤碩彦氏)は、地域に根付いた企業活動として積極的にマイバッグ運動や、廃棄物削減に取り組んでいます。

環境マネジメントシステム14001認証を取得しており、店舗挙げての環境保護の取組はもちろんのこと、大館市で設置しているコンポストセンターに同地区内の店舗・事業所で廃棄する生ごみ(残渣)を搬入し、生ごみ排出量を徹底して削減しています。コンポストセンターでは、堆肥化し培養土を製造と、リサイクルの環が繋がっています。この堆肥化



受付で



落ち着くべきところへ

なかなか進まないそうです。いただくほうの理解を得ることも大切なことだと思います。包装紙で全体を包んで、さらにのし紙を貼るより、短冊型の小ぶりののし紙ひとつで十分に思いは伝わるという共通理解が必要だと思いました。

培養土の製造に関しては、野菜ごみと肉等残渣の配分が難しいことから、なかなか一般企業では運営ができないのが現状です。行政(大館市)が主導で設置している同様のセンターが秋田県内各地に設置されることになれば、県内各地に店舗を持つ同社で現在行っているような生ゴミの堆肥化が可能となり、食品リサイクル、ゴミ減量が図られるということでした。この点は行政に期待が寄せられます。

また、同社で排出される使用済みてんぷら油は動物用飼料としてリサイクルされ、これもゴミ減量の一翼を担っています。

買物にお出でになるお客様と一緒に取り組んでいるのは、レジ袋を減らし、マイバッグをとという運動です。同社ではレジ袋をもらわないときのスタンプカードを発行し、お客様に還元できるようにし、結果、全店平均で12%の方がマイバッグ持参、東台店(藤里)では、実に26%のマイバッグ持参率ということでした。

県内に広く展開している同社の悩みとは、市町村によってごみ分別方法がさまざま、その地域にあわせた方法を取る必要があり、一律のマニュアルができないということでした。

また、贈答品の包装を簡易なものにという運動も、失礼に当たるからという声が多く、なか



目立つように!

2006ワールド・エコノ・ムーブ in 大瀧村

5月5日子どもの日、省エネ自動車耐久レースのワールド・エコノ・ムーブが今年も発祥の地、大瀧村のソーラースポーツラインで開催されました。

大会は今年で12回目を迎え、日本の各地から鉛蓄電池部門79チーム、燃料電池部門16チームが参加しました。

当日はあいにくの雨に強風という悪天候で、ワイパーなしの各車は、フロント内側も外側も曇って視界がさえぎられ大変なレースになりました。

天蓋を取り外し、ドライバーがピシヨピシヨで走行したり、ピットでチームのスタッフが窓を拭いたりと苦労しながら走行距離を競いました。



秋田高専 天蓋を外して頑張ってる

鉛蓄電池部門では東海大チャレンジセンター、燃料電池部門は中日本自動車短大が優勝し、秋田県勢も秋田高専が燃料電池部門5位、秋田工業高校7位で、鉛蓄電池部門ではチームなまず(男鹿市)や由利工業高校なども健闘しました。

7月23日にソーラーバイク、28日~30日にはワールド・ソーラーカー・ラリーが開催されます。若いみんなの努力と熱意で電気自動車の性能がアップすることを期待しています。



鉛蓄電池部門出走です



地元 秋田工業高校

あきたエコマイスター第2期生誕生



祝辞を述べる山本理事長

平成18年3月18日(土)、秋田市文化会館で「あきたの環境を考える集い」が行われました。秋田県が主催している「環境あきた県民塾」修了証書授与式と同時に「あきたエコマイスター登録証授与式」が行われ、57名のあきたエコマイスター第2期生が誕生しました。

県内3ヵ所で1年を通じて開催されている「環境あきた県民塾」ですが、6単位以上取得で修了というシステムになっています。修了式では佐々木松彦生活環境文化部長から県北地区代表の石川さん、県中央地区代表の今藤さん、県南地区代表の柴田さんに修了証書とエコマイスターのジャンパーが手渡されました。

当法人の山本理事長から修了生へ祝辞として「子どもたちの未来のために、皆さんのような方々が頑張ってくださいことに感謝したい」と祝辞が述べられた後、エコマイスター1期生それぞれが地域で活動している様子がスライドで紹介されました。あきたエコマイスターネットワークを立ち上げ、大仙市協和のエコハウス見学に出かけたときの様子や、美化活動、こどもエコクラブのサポーター、自然保護活動、地球温暖化防止活動など、緩やかなネットワークで連携をしているという1期生の渡辺勇さんの説明がありました。

休憩の後、「地球環境を救う新しいライフスタイルへ」と題し、淑徳大学教授北野大(きたのまさる)さんの講演が行われ、軽妙な話術で笑いの絶えない中にも、地球環境を守るべき必要性を改めて感じさせられました。



講師の北野さん

県環境あきた創造課

<http://www.pref.akita.lg.jp/kankyoho/>

あきたエコマイスターネット

<http://www.pref.akita.jp/akitaeco/>



エコマイスタージャンパーを羽織って



2期生勢ぞろい

平成18年度「環境あきた県民塾」が始まりました!!

今年も「環境あきた県民塾」が始まりました。県環境あきた創造課が主催するこの塾は、県北、県南、県中央の3ヵ所で5月から11月までに体験分野を含んだ7講座を開催します。

平成18年5月14日(日)、秋田市の遊学舎において、今年度第1回の「環境あきた県民塾」が開講しました。

第1回講座は「環境問題とは?」をテーマに、午前中は講義、午後はワークショップを行いました。



県南会場ワークショップ



県中央会場ワークショップ

午前の講義では、県環境あきた創造課の佐々木誠さんが講師を務め、環境問題全般についてのお話がありました。

午後のワークショップでは、6人程度のグループに分かれて「ごみの減量について」話し合いました。初対面の方が多く、

当初は戸惑いを見せていた塾生も、議論が進むにつれて熱心に討論していました。最後に各グループでの発表がありましたが、それぞれの特徴が出た楽しい発表になりました。

5月21日(日)には北秋田市中央公民館(北秋田市)、5月28日(日)には大曲仙北広域交流センター(大仙市)にて県北地区と県南地区の講座が開講され、多くの塾生が受講しました。



県北会場ワークショップ

年度途中からの参加もできますので、興味をお持ちの方はぜひ県環境あきた創造課までお申し込みください。

あきたエコマイスターネット

<http://www.pref.akita.jp/akitaeco/>

小坂高校「環境優良高等学校推進事業」へ出前講座



生徒総会で

平成18年4月26日(水)、県立小坂高等学校が「あきた環境優良高等学校」の認定を受け、その取組の推進をしようと、生徒総会で「持続可能な社会をめざして一人ひとりができることから」という講座を行い、高村(事務局)が担当しました。

小坂高校生徒250名、教職員、そして学校開放日ということで参加された方々に「なぜ環境保護が必要なのか」「どうすれば、ゴミが減るのか」「環境は人のためならず」など、思いつくまま話をさせていただきました。

町を挙げて「循環型社会を目指す町」に取り組んでいる小坂町では、町民の生ごみを回収して豚糞とあわせ堆肥をつくり、それを町民に還元しています。



生徒を代表して

また、菜の花を植え、菜種油を採取し軽油代替燃料(BDF)をつくるプロジェクトも始めています。

町と連動し、小坂高校でも、まずはリサイクル、ゴミの減量、省エネなどに取り組もうという活動を始めています。

未来ある高校生が自主的に環境に優しい取組をするのは、素晴らしいことです。私たちは、できることで応援していきたいと思います。

出前講座でクイズをしてみました。

- Q1. このままで2100年になったら、秋田の真夏日は何日?
- Q2. お風呂の残り湯を洗濯などに使いきると1年間で何円お得?
- Q3. 日本人が一人一日で使うトイレットペーパーの平均の長さは?
- Q4. テレビを見る時間を1時間増やすこと、冷暖房の設定温度を1上げる(下げる)こと、買物のたびにレジ袋をもらうことのうち、一番エネルギーを使うのは、どれ?
- Q5. 100年後、温暖化による海面上昇予想は何センチ?
- Q6. 日本のエネルギー消費量は世界で何位?

クイズの答え

54日 約5,000円 9m
レジ袋をもらうこと 88cm 4位



化石燃料に代わるエネルギーは?



あきた環境優良高等学校シール



技あり!
バインダーを使うなんて(^^)v

リメイクキャンドルに挑戦!



真剣なまなざし

平成18年6月8日(木)秋田市立築山小学校5年生89名が結婚式等で使用し残ったキャンドルを材料にオリジナルキャンドルづくりに挑戦しました。

100万人のキャンドルナイト in あきた2006夏至(6月18日夜開催)の一環で行われたリメイクキャンドル講座で、

実行委員会の小笠原美代子さんが講師を務めました。

砕いた廃キャンドルを溶かし、型に入れて新しいキャンドルをつくる作業で、リサイクルやライフスタイルの見直しなど環境について考える機会になったようです。

子供たちの力作は、メッセージを添えて秋田西武店内に展示されました。



秋田西武店内で展示

平成18年度環境保全功労者等環境大臣表彰

今年度は、秋田県から1団体、1個人が選ばれました。全国では54団体、57個人が受賞。6月12日(月)に東京で表彰式が行われました。

受賞したのは、地域環境美化功績で北秋田市の道城希望会((どうじょうきぼうかい)、会長津幡保三氏)。会員111名のこの団体は、老人クラブ設立以来42年間、環境美化活動や清掃活動に取り組んできました。特に、平成10年からは地域内の県道(主要地方道二ツ井・森吉線)の沿道800mにわたり花々を植栽し、お盆にはひまわりで帰省客を歓迎し、100キロチャレンジマラソンの時期にはマリーゴールドでランナーを和ませるなど、花の希望ロードとしてドライバーや道行く人々にも親しまれています。

また、地域の清掃活動(空き缶拾い、集落内クリーンアッ

プ等)美化運動の啓発活動も積極的に行っており、この地域は、空き缶やごみのポイ捨ての量が特に少ない地域となっています。

地域環境保全功労者功績では、秋田市の那須チカ子さん(環境カウンセラー)が受賞。那須さんは平成10年に、環境大賞(秋田県知事賞)を受賞しています。長年にわたり、家庭でのゴミ減量や省エネ行動を実践し、環境家計簿をつけ、地球温暖化防止につながる模範的な活動が評価されました。

家庭での取組に努める一方、平成8年に環境カウンセラーに登録して以来、自身の経験等をもとに、行政や住民団体が開催する環境に関する講座や講演会の講師を多数務め、身近なところから取り組める環境保全活動の実践について普及啓発を行っており、環境教育の推進に大きく貢献しています。



風の音楽祭 in 秋田マリーナ

自然エネルギー 見て触れて体験！
3月に誕生したばかりの市民風車「風こまち」の足元で風の音楽祭を開催します。

2006年7月15日(土) 13時スタート 入場無料
・市民風車愛称応募参加者表彰式 ・白井貴子ミニライブ
・自然エネルギートーク&クイズ ・風車見学会
・ソーラーカー展示 ・環境活動展示ブース出展ほか
イベント開場：秋田マリーナ(県道秋田・天王線)
送迎バスも出ます。

お問い合わせ：市民風車の会あきた 電話：018-863-0800
E-mail：e-wind@hots.jp



風こまち



白井貴子さん



自然観察会・体験教室の予定表

対象：どなたでも参加できます。(子どもは保護者同伴)
集合場所：自然ふれあいセンター(地図は、下の関連情報「鳥獣保護センター」にあります)
定員：各回30名
時間：午前10時～午後2時
申し込み：開催日の3日前までに電話で。
参加費：無料

その他：昼食持参。小雨決行。定員になり次第締め切ります。
また、集合場所・時間や定員などが通常と違う場合がありますので、詳細は左下の予定表で確認してください。
問い合わせ：環境と文化のむら(鳥獣保護センター)
TEL：018-852-2134 FAX：018-852-5251
<http://www.pref.akita.lg.jp/icity/browser?ActionCode=content&ContentID=1132643126954&SiteID=0>

月日	テーマ・主な内容	備考
7月 1日(土)	テーマ/ ホッ、ホッ、ほーたる 来い ・ホタルの飛ぶ雑木林を探検 ・ライトトラップ(明かりに集まる虫たち) 午後7:00～午後9:00	懐中電灯持参 夕食を済ませて集合 定員 親子20名
7月30日(日)	テーマ/ 草原の虫たち・植物たち 寒風山へ出かけよう! ・バッタの仲間や鳴く虫を見てみよう ・カワラナデシコなど草原の植物を観察	集合場所：寒風山駐車場 集合時間：午前9:00
8月 6日(日)	テーマ/ 夏休み 木工教室 ・木の枝で何をつくる? ・自然の材料を使って夏休みの工作 応援団	材料持参可 定員 親子20名
9月 3日(日)	テーマ/ 赤とんぼを知っている? ・とんぼも歳をとるとってほんと?	
10月 1日(日)	テーマ/ キノコを知る楽しみ方 ・自然界におけるキノコの役割 ・身近な食べられるキノコ・毒キノコ	
11月 5日(日)	テーマ/ 落葉図鑑をつくる ・落葉と木のはだを観察してみよう ・落葉と木のはだの拓本をとって、そっくりさんの見分け方を発見	色鉛筆があると、自分だけの落葉図鑑ができるかも?
12月 3日(日)	テーマ/ 初冬の里山 おもしろ発見! ・植物・昆虫・動物の寒さ対策を観察 ・ヤマカマスやスカンダワラを探そう ・マツボックリでミニツリーを作ろう	虫や植物に負けない寒さ対策を
平成19年 2月 4日(日)	テーマ/ 体験教室 -お花づくり- ・雑木林の役割 ・お花炭、リサイクル割りばし炭を焼いてみよう	くだもの時間をかけると炭にできます ます
3月25日(日)	テーマ/ どこかで春がうまれてる ・音・風・光から、春の息吹を感じてみよう ・あなたが春の第1発見者になるかも? ・ミズバショウの置物を作ろう	「環境と文化のむら」の春はまだまだ寒いよ

平成18年度 おやこ自然教室

各教室の申し込みは、1ヵ月前から受け付けます。
定員と持ち物等については、申し込み時にお問い合わせください。
おやこ自然教室には、保護者同伴で参加してください。
都合により変更することがありますので、ご了承ください。

申し込み・問い合わせ
秋田県立農業科学館
〒014-0073 大仙市内小友字中沢171-4
TEL：0187-68-2300 FAX：0187-68-2351
詳しくは<http://www.akita-c.ed.jp/mus-agri>

月日	教室名	対象	内容
7月29日(土)	炭で遊ぼう	幼・小・中と親	炭を利用して飾り作りなどをします。
8月 5日(土)	食虫植物のひみつをさぐる	幼・小・中と親	食虫植物の観察と虫を与える実験をします。
8月19日(土)	押し花で遊ぼう	幼・小・中と親	押し花としおり作りをします。
9月 9日(土)	旬の野菜を収穫しよう	幼・小・中と親	春に植えた野菜を収穫します。
10月21日(土)	豆腐を作ろう	幼・小・中と親	大豆から豆腐を作ります。
11月 4日(土)	リンゴ狩りをしよう	幼・小・中と親	リンゴの収穫体験をします。
2月 3日(土)	パイオにチャレンジしよう	小・中と親	ばい菌のない所での種まき実験をします。

入会について あなたも参加しませんか

未来の子どもたちのために、秋田の環境をよりよくしていこうという活動の応援団です。当法人の活動やこのフォーラム通信発行のために会費を負担していただいています。

会費

区分	社員	一般会員
企業・企業関係団体	1口：1万円 年1口以上	1口：1万円 年1口以上
個人・民間団体	1口：3千円 年1口以上	1口：1千円 年1口以上

会費納入について

秋田銀行 県庁支店 普通 560425 北都銀行 山王支店 普通 6099633
郵便振替口座 02280-7-76146

いずれも特定非営利活動法人 環境あきた県民フォーラム宛です。

なお、フォーラム通信送付の都合上、銀行振込の場合は事務局にご住所、お名前をご連絡ください。

NPO法人 環境あきた県民フォーラム 秋田県地球温暖化防止活動推進センター ACCCA

〒010-1403 秋田市上北手荒巻字堺切24-2 遊学舎(秋田県ゆとり生活創造センター)内
TEL・FAX 018-839-8309 Eメール mail@eco-akita.org ホームページ <http://www.eco-akita.org/>

ストップ!温暖化

事務局から

すんごく暑かったり、寒いくらいだったり、コロコロ天気が変わって、ホント気候が変(-"-) やっぱ、地球温暖化の影響だーな。少し前まで、地球温暖化の影響だと懸念される...なんて表現の報道が普通だったけど、最近は「地球温暖化の影響によるもの」と断定されることが多くなってきた。シミュレーションでも、かなり恐い状況が予想されているんだけど、自分のことだって思わない人が多くて、なかなか減らない... どうすりゃいいんだろう(o_ _)oーむ